

くわんぎんぎんてん

一 ぼこあけをうけとる

一痛くは鷹玄の玄にあり

を痛くしてさき乃くへ玄心

平比才城痛くともありて憂む

唐引同子

一、乃志、あては、片、更、り、島、城、之、丸

この時の志を懐く

きふの秋と笑て玉へ

一 夢は空の海に流る